

# 緑友

No. 65

1988年1月5日発行

題字 今井直一筆

## 全国印刷緑友会30周年記念 東京大会



21世紀情報産業の  
ビジョンを求めて…



今、拡げよう  
緑友のころ……

## 30周年記念の東京大会を終えて 更なる飛躍を求め



全国印刷緑友会・会長  
竹内一博

全国印刷緑友会は初代幹事長故市村道德氏をはじめとする創立期に意欲と熱意に満ちた諸先輩のご尽力により昭和33年発足いたしました、結成当時はわずか10グループ、しかし、この30年の幹事長、会長の卓越した指導力と各地青年印刷人の息吹きが相まって今日では実に39グループ、1,400名の会員を擁するまでに成長発展をして参りました。しかし、この30年の道程は決して平坦ではなく、緑友を揺るがす大きな問題も沸騰し、迫熱の激論を交わした歴史でもありました。緑友の原点とは何か、目的は何か、価値はあるのか、全国から集いし若き青年印刷人は会の創立経過の相異、その使命、目的、行動の違いという大きなハンディキャップがあるにも拘らず、明日の、未来の緑友の姿を語り明かし、意見のくい違いが発生しても、分別と良識を如何なく発揮し、印刷界にあって燦然と輝く偉大なる足跡を残し、有能なる業界人を多く輩出した道場でもありました。30年もの永きに亘り維持、増強できた最大の要因は何か、私は即座に「真摯なる交流と腹を割ったディスカッション」と答える。緑友を通し友を知り、友を得、愛すべき友人が全国に1,000名もいる、これは何によりの財産であり、宝と考えます。又企業人とし、業界人とし、多くの情報交換の場でもあり、優れた講師によるセミナーは他組織にはない学習、研修の場でもあります。純粹さと若さの躍動がある限り緑友会は不滅です。今後は常に謙虚さを保ち、更なるチャレンジを追求し、内外共にこの30年を契機に広くPRに努め、正しき緑友の宣教師として、一人一人が普及に努めようではありませんか。そして私の掲げた三つのスローガン、ヘッドワーク、ネットワーク、チームワークの3Wの完成に向けて心一つにして、業界の繁栄と向上に寄与すべきと考えます。強固な基盤作りのため、会員及び関連業、関連官庁の変らぬご協力とご指導も合わせてお願い申し上げます。

本大会の開催に当り、在京7グループの全面的なご支援とご準備には只々敬意と感謝を申し上げます。又、広告協賛にも心よくご配慮賜りました印刷関連業界に深甚なる謝意を表するものです。

21世紀に向け大きく変革を求められている印刷界にあってビジョンを求め、緑友の心を拓ける重要かつ意義ある東京大会です。ご出席賜りました皆様が少しでも成果が得られ、明日へのエネルギーとなる事を祈念し、ご参会の企業のご発展と皆様のご健勝、ご多幸を祈りつつご挨拶いたします。



大会実行委員長  
山口 雅也

夏の真っ盛り、お盆前の誠にお忙しい中、多くの御来賓を始め全国の緑友の諸先輩・全国の緑友の皆様方をかくも多数お迎えして、この伝統ある全国緑友30周年記念東京大会を開催でき、唯々、心から喜びを感じ感謝いたしております。

本日に至るまで多くの皆様のご協力とご支援を頂きました事は、大会を主管致しました在京グループ一同、まず厚く御礼申し上げます。

顧みますと10年前の20周年東京大会、この度の30周年と、10年の月日は、全く早いものです。しかし、その10周年の緑友の継続と発展は偏に諸先輩のご努力の賜物であり緑友の魅力でもあると信じております。大会開催の準備は、大きな仕事でしたが、本日はその努力に華を咲かせて頂けた事で、実行委員一同、改めて喜びを感じる次第であります。

本大会は、『21世紀情報産業のビジョンを求めて今、拡げよう緑友の心 ……』をテーマとしており緑友会のこれから未来への方向をフレキシブルな発想のもとに発展することを願ってやみません。

準備させて頂きました式典・記念講演・パネルディスカッション・懇親会・エクスカレーションを通じて、この30周年の大きな節目に緑友の原点である心のふれあいが益々深まる事を祈念しております。

本日は、ご夫人方をはじめご家族の方々にも御参加頂きました事も重ねて御礼申し上げます。

大会プログラムがスタート致しますが、何分にも不行き届きな点多々あるかと存じますが、精一杯努力致しますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



ヴィオラ演奏（村山勝美さん）  
により式典の幕が開かれた。

来賓の御挨拶  
全日本印刷工業組合  
連合会会長  
新 村 重 晴 様



日本写真製版工業組合  
連合会会長  
片 山 英 一 様



歴代幹事長・会長  
感謝状贈呈（16名）

記念講演  
テーマ「世界の中の日本」  
講師 磯村尚徳先生  
NHK放送総局特別主幹



パネル  
ディスカッション  
テーマ：  
「新たな緑友の  
ビジョンを求めて」



## 懇親会風景



実行委員のメンバーたち



次期大会開催地  
(佐賀)へ大会旗  
の伝達

## 神戸若人会 '87印刷文化展において 特別賞を受賞！



30周年記念植樹

日常のボランティア活動に対し、  
87年印刷文化展において特別賞を  
受賞した。

その他過去、県知事表彰（3回）、  
神戸市長表彰他を受賞している。

## 神戸若人会30年誌が発刊される

### 若人会30年誌発刊に際して

幹事長

松本 孝昭



神戸印刷若会が発生してから、今年6月27日で創立30周年を迎える事が出来ましたが、あすの業界を背負って立とうとする若い情熱が結集し、一貫して我が印刷業界のイメージアップと地域社会に貢献できる何かを成し遂げ年と共に団結を固めて、着実な歩みを続けて参りました。

その間、偉大なるリーダー武重治氏を失う不幸はございましたが故武氏が常に自負しておられたように神戸印刷若会には、ある一つのことが決議されるまでには、相当の紆余曲折があるが、一度決まってしまうと、いかなる障害があろうとも会員が一致団結して、その成就に当る事を、今もしっかりと受け継ぎ、より高き理想をかざしながら自からの責任を自覚し、平生の謙虚な心を忘れずに一歩一歩新しい道を踏みしめて前進いたしております。

結成以来、すでに30年をへて、その間数々の事業を達成して参りましたが今後、激しく流動的な社会情勢のもとで、この業界が第3次産業として、さらに大きく飛躍するために若手経営者及び幹部が集まった若会が果し得る役割は誠に大なるものがあると思います。

兵庫県知事よりのご挨拶の中で年輪を加えるに従ってたくましく成長し、自己の充実と進歩に努めるとともに、社会の発展と調和に寄与してゆかねばならないと申されました。しみじみと味わった言葉であります。

私達も印刷社会人として、この責務を事業を通じていつの場合にも痛感してきた次第であります。

私達若会会の“集り”は我々自身の研鑽と勉強はもとより、印刷展、植樹運動、清掃活動、ボランティアと時代と共に、その形態、外観は移り変わってゆきましたが、諸々の活動の底に流れる“若人会精神”は連続として受け継がれており、今後40年・50年と生き続けることを確信しております。

この30周年を一つの節目として、今後10年計画で神戸市内の幼稚園、学校に“実のなる木”を植えていく記念事業も決定しております。

私たち自身は微力ですが、25年前の桜の植樹が神戸市のグリーン作戦のきっかけになったように、私達神戸印刷若会30周年記念事業をきっかけに“実のなる木”が拡がり、子供たちの夢が、笑顔が拡がればと願っております。

新たなる息吹きを求め、集え武田の里へ。

YAMANASHI JAPAN

第31回●全国印刷緑友会

山梨総会のご案内

やまなし印刷若人会 幹事長 藤森純一

全国印刷緑友会が、創立30周年を迎える事になり、会員の一人として心より喜ぶと共に、これまで緑友を支えてきた諸先輩に深い敬意を表します。さて、この歴史ある緑友会のひとつの節目を過ぎて、31回総会を我々やまなし印刷若人会の主管により、風林火山の旗の下、山梨・武田の里に於いて開催することになり、その準備に鋭意努力いたしております。31年目を迎えた緑友の新たなる息吹き、若人らしい行動力と情熱をもって、緑友のさらなる発展のため、全国印刷緑友会の会員皆様のご結集を心よりお願いいたします、山梨総会へのお誘いとお挨拶いたします。

●日時／昭和63年5月14日(土)・15日(日)

●場所／石和グランドホテル 山梨県東八代郡石和町窪中島977 ☎ 0552 (62) 2211



## 第21回 全国印刷緑友会セミナー

### 実施要項

とき／昭和63年2月6日(土)

ところ／都ホテル大阪

大阪市上本町6-1-55

T E L 06-773-1111

登録料／¥20,000 (宿泊費別)

### スケジュール

12:00~13:00 登録受付

13:00~13:30 あいさつ

13:30~15:00 講演；青木 定雄

15:00~15:15 ティータイム

15:15~17:15 講演；谷口 正和

18:00~19:30 懇親会

全国印刷緑友会機関誌「緑友」第65号

〒060 札幌市北区新琴似二条一丁目  
竹内印刷工業㈱内 TEL011-727-7759

発行人 竹内 一博 (札幌青年印刷人の会)

編集人 文京緑友会

\*用紙は㈱四国洋紙店様よりご提供いただきました。